

授業科目名	医学研究実習 (Practice for Medical Research)		
対象学年	4年生	単位	10単位
科目責任者	やすだ ともはる 保田 朋波流	所属	免疫学
	もりわき けんた 森脇 健太	所属	医化学
	みい しんじ 三井 伸二	所属	分子病理学
	あいざわ ひでのり 相澤 秀紀	所属	神経生物学
	たなか あきお 田中 暁生	所属	皮膚科学
	はしもと こういち 橋本 浩一	所属	神経生理学
概要	<p>医学研究実習は、学生が医学研究を体験し、これによって基盤医学研究とは何であるかを理解し、研究マインドのある医師・研究者になることを目的とする。この場合の基盤医学研究とは、細胞・動物および各種生体材料等を用いた実験、数理モデル・医工連携研究等、および人の集団を観察の対象とする社会医学研究等を指す。これらの取り組みを通して、研究指導者とコミュニケーションをとり、実験の背景を知り、実験計画の立案・実験手技の実践を行う。優れた結果の有無に関わらず、研究の過程を体験することが重要である。診療の見学等の臨床の場に出ることは、本実習の基盤医学研究の範囲には含まない。</p>		
授業方法	<p>※事前に「医学研究実習の手引き」を参照し、配属先の研究室を選択する。</p> <p>① 学生は、医学科ならびに原医研を含む広島大学の研究室に所属して研究を行う。基礎社会医学、臨床医学、原医研の研究室に所属することができるが、臨床の場に出るのではなく、医学研究を行う。</p> <p>② 教員の紹介によって上記以外の国内外の研究室に派遣されて研究することができる。公開されている派遣可能な研究室の情報をもとに、教員と相談して行き先を探す。学生が自分で行き先を探すことも可能であるが、その場合でも広島大学の教員を通して派遣されるという形式とする。</p> <p>③ 学外への派遣の場合には、派遣先研究室、派遣する教員と連絡をとり、準備を整えておく。学外派遣先が決定し次第、派遣先研究室の研究内容、志願理由を提出し事前確認を受ける。</p> <p>④ 国内外の研究室への派遣については、旅費、滞在費は原則として自己負担とする。実習費用の手当（教育関連予算等からの援助）については消耗品代の一部に限って支出する。</p> <p>自分の行った研究について、ポスター発表および口頭発表を行う。また、報告書を作成する。</p>		
到達目標	<p>各自の興味に応じて選択制カリキュラム（医学研究）に参加する。 実験・実習の内容を決められた様式に従って文書と口頭で発表できる。 生命科学の講義・実習で得た知識を基に、診療で経験した病態の解析ができる。 研究課題解決に向けて実験・解析を実践し、得られた結果を科学的に考察できる。 患者や疾患の分析を基に、教科書・論文等から最新の情報を検索・整理統合し、疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。 抽出した医学・医療情報から新たな仮説を設定し、解決に向けて科学研究（臨床研究、疫学研究、生命科学等）に参加することができる。 科学研究に必要な知識・技術を身につける。</p>		
講義日程	4月～7月のすべての授業時間をあてる。具体的なスケジュールは所属研究室と相談のこと。		
評価項目 評価法	受入研究室の教員、あるいは国内外の研究室に派遣した教員の判断に基づき実験ノートならびに月末のレポート、発表会での発表、報告書とともに実習中の態度などを合わせて総合的に成績を評価する。		
予習・復習への アドバイス	配属先および派遣担当の指導教員と相談し、研究論文を読んで研究背景や実験内容の理解に努める。特に学外派遣の学生は実験手技のトレーニングを事前に受けておく事が望ましい。実験を教えてもらう際にはわからない点を質問したり自分で調べるなどして、実験内容や目的を完全に理解したうえで実行することが重要である。		
推奨参考書	各研究室の指定による。必要に応じて、基礎医学の教科書をもう一度ひもとく。実習中に英文の論文を読むことを推奨する。		